

平成21年3月期第3四半期  
決算説明資料



株式会社 三菱UFJフィナンシャル・グループ

## 【目 次】

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

以下、三菱UFJフィナンシャル・グループは「持株」、三菱東京UFJ銀行は「銀行」、三菱UFJ信託銀行は「信託」と省略して表示しております。また、【2行合算】は、三菱東京UFJ銀行及び三菱UFJ信託銀行の単体ベースの単純合算であります。

1. 損益状況	【持株 連結】【2行合算】 【銀行 単体】【信託 単体】	.....	1
2. 金融再生法開示債権	【2行合算+信託勘定】 【銀行 単体】【信託 単体】【信託勘定】	.....	5
3. 有価証券の評価損益	【持株 連結】【銀行 単体】【信託 単体】	.....	6
4. ROE	【持株 連結】	.....	9
5. 預貸金利回	【2行合算】	.....	9
6. 預金・貸出金の残高	【2行合算】	.....	9
7. 信託財産残高表	【信託 単体】	.....	10
(参考)			
証券化商品等及び米国GSE等関連のエクスポージャー		.....	11

## 1. 損益状況

## 【三菱UFJフィナンシャル・グループ 連結】

(単位:億円)

	平成21年3月期 第3四半期	平成20年3月期 第3四半期	増 減
1 連結業務粗利益	24,928	25,598	△ 670
2 (信託勘定償却前連結業務粗利益)	( 24,928)	( 25,599)	( △ 670)
3 資金利益	14,101	13,859	241
4 信託報酬	929	1,120	△ 190
5 うち 与信関係費用(信託勘定)	△ 0	△ 0	0
6 役務取引等利益	7,228	7,961	△ 732
7 特定取引利益	1,889	2,567	△ 677
8 その他業務利益	779	89	689
9 うち 国債等債券関係損益	796	△ 53	849
10 営業費	15,729	15,745	△ 15
11 うち のれん償却	162	95	67
12 連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前、信託勘定・のれん償却前)	9,361	9,949	△ 588
13 連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前、信託勘定償却前)	9,198	9,854	△ 655
14 一般貸倒引当金繰入額(△は繰入)	302	114	188
15 連結業務純益(注)(13+5+14)	9,501	9,968	△ 466
16 臨時損益(△は費用)	△ 8,362	△ 3,317	△ 5,044
17 与信関係費用	△ 4,646	△ 3,458	△ 1,188
18 貸出金償却	△ 2,604	△ 1,569	△ 1,035
19 個別貸倒引当金繰入額	△ 2,001	△ 1,709	△ 292
20 その他の与信関係費用	△ 40	△ 180	139
21 株式等関係損益	△ 3,263	369	△ 3,632
22 株式等売却益	868	1,151	△ 283
23 株式等売却損	△ 173	△ 71	△ 101
24 株式等償却	△ 3,957	△ 710	△ 3,246
25 持分法による投資損益	9	128	△ 119
26 その他の臨時損益	△ 461	△ 356	△ 104
27 経常利益	1,139	6,650	△ 5,511
28 特別損益	△ 32	△ 329	296
29 うち 償却債権取立益	244	312	△ 67
30 うち 偶発損失引当金戻入益(与信関連)	8	-	8
31 うち 子会社株式売却益	327	-	327
32 うち システム統合に係る費用	△ 765	-	△ 765
33 税金等調整前四半期純利益	1,106	6,320	△ 5,214
34 法人税、住民税及び事業税	675	666	8
35 法人税等調整額	228	1,960	△ 1,732
36 少数株主利益	623	546	76
37 四半期純利益	△ 420	3,146	△ 3,567

(注)連結業務純益 = 子銀行単体業務純益 + その他連結会社粗利益 - その他連結会社営業経費  
 - その他連結会社一般貸倒引当金繰入額 - のれん(借方)の償却費用 - 内部取引

(参考)

38 与信関係費用総額(△は費用)(5+14+17+30)	△ 4,335	△ 3,344	△ 990
-------------------------------	---------	---------	-------

## 【2行合算】

(単位:億円)

	平成21年3月期 第3四半期	平成20年3月期 第3四半期	増 減
1 業務粗利益	16,127	16,426	△ 298
2 (信託勘定償却前業務粗利益)	( 16,127)	( 16,426)	( △ 298)
3 資金利益	10,632	10,307	325
4 信託報酬	696	841	△ 144
5 うち与信関係費用(信託勘定)	△ 0	△ 0	0
6 役務取引等利益	3,396	3,715	△ 318
7 特定取引利益	1,073	1,402	△ 329
8 その他業務利益	328	159	168
9 うち国債等債券関係損益	857	86	771
10 営業費	9,744	9,621	123
11 業務純益(一般貸倒引当金繰入前、信託勘定償却前)	6,382	6,805	△ 422
12 一般貸倒引当金繰入額(△は繰入)	335	111	223
13 業務純益(11+5+12)	6,718	6,916	△ 198
14 臨時損益(△は費用)	△ 7,877	△ 1,955	△ 5,921
15 与信関係費用	△ 3,337	△ 1,985	△ 1,352
16 貸出金償却	△ 2,272	△ 1,093	△ 1,179
17 個別貸倒引当金繰入額	△ 1,034	△ 804	△ 229
18 その他の与信関係費用	△ 30	△ 87	56
19 株式等関係損益	△ 4,214	100	△ 4,314
20 株式等売却益	655	897	△ 241
21 株式等売却損	△ 161	△ 66	△ 94
22 株式等償却	△ 4,707	△ 729	△ 3,977
23 その他の臨時損益	△ 324	△ 70	△ 254
24 経常利益	△ 1,159	4,960	△ 6,119
25 特別損益	107	414	△ 306
26 うち償却債権取立益	210	280	△ 69
27 うち貸倒引当金戻入益	76	-	76
28 うち偶発損失引当金戻入益(与信関連)	9	5	3
29 うち親会社株式売却益	536	-	536
30 うちシステム統合に係る費用	△ 766	-	△ 766
31 税引前四半期純利益	△ 1,051	5,374	△ 6,425
32 法人税、住民税及び事業税	150	176	△ 25
33 還付法人税等	-	98	△ 98
34 法人税等調整額	615	1,940	△ 1,324
35 四半期純利益	△ 1,817	3,355	△ 5,173

(参考)

36 与信関係費用総額(△は費用)(5+12+15+27+28)	△ 2,916	△ 1,867	△ 1,048
----------------------------------	---------	---------	---------

## 【三菱東京UFJ銀行 単体】

(単位:億円)

	平成21年3月期 第3四半期	平成20年3月期 第3四半期	増 減
1 業務粗利益	13,466	13,554	△ 88
2 資金利益	9,577	8,894	682
3 役務取引等利益	2,709	2,853	△ 144
4 特定取引利益	1,027	1,354	△ 326
5 その他業務利益	151	451	△ 300
6 うち 国債等債券関係損益	492	338	153
7 営業費	8,265	8,141	123
8 業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	5,201	5,412	△ 211
9 一般貸倒引当金繰入額(△は繰入)	335	87	247
10 業務純益(8+9)	5,536	5,500	36
11 臨時損益(△は費用)	△ 7,285	△ 1,810	△ 5,474
12 与信関係費用	△ 3,293	△ 1,906	△ 1,387
13 貸出金償却	△ 2,229	△ 1,081	△ 1,147
14 個別貸倒引当金繰入額	△ 1,034	△ 725	△ 308
15 その他の与信関係費用	△ 29	△ 98	68
16 株式等関係損益	△ 3,717	185	△ 3,902
17 株式等売却益	620	804	△ 184
18 株式等売却損	△ 156	△ 55	△ 101
19 株式等償却	△ 4,180	△ 564	△ 3,616
20 その他の臨時損益	△ 274	△ 89	△ 185
21 経常利益	△ 1,748	3,689	△ 5,438
22 特別損益	58	381	△ 322
23 うち 償却債権取立益	196	235	△ 39
24 うち 親会社株式売却益	536	-	536
25 うち システム統合に係る費用	△ 766	-	△ 766
26 税引前四半期純利益	△ 1,690	4,071	△ 5,761
27 法人税、住民税及び事業税	150	178	△ 27
28 還付法人税等	-	98	△ 98
29 法人税等調整額	306	1,364	△ 1,058
30 四半期純利益	△ 2,147	2,626	△ 4,773

(参考)

31 与信関係費用総額(△は費用)(9+12)	△ 2,958	△ 1,818	△ 1,139
-------------------------	---------	---------	---------

## 【三菱UFJ信託銀行 単体】

(単位:億円)

	平成21年3月期 第3四半期	平成20年3月期 第3四半期	増 減
1 業務粗利益	2,661	2,871	△ 210
2 (信託勘定償却前業務粗利益)	( 2,661)	( 2,872)	( △ 210)
3 信託報酬	696	841	△ 144
4 うち与信関係費用(信託勘定)	△ 0	△ 0	0
5 資金利益	1,055	1,412	△ 356
6 役務取引等利益	687	862	△ 174
7 特定取引利益	45	48	△ 2
8 その他業務利益	176	△ 292	468
9 うち国債等債券関係損益	365	△ 252	617
10 営業費	1,479	1,479	0
11 業務純益(一般貸倒引当金繰入前、信託勘定償却前)	1,181	1,392	△ 210
12 一般貸倒引当金繰入額(△は繰入)	-	24	△ 24
13 業務純益(11+4+12)	1,181	1,416	△ 234
14 臨時損益(△は費用)	△ 591	△ 145	△ 446
15 与信関係費用	△ 44	△ 79	35
16 貸出金償却	△ 43	△ 11	△ 31
17 個別貸倒引当金繰入額	-	△ 78	78
18 その他の与信関係費用	△ 0	11	△ 12
19 株式等関係損益	△ 497	△ 84	△ 412
20 株式等売却益	35	92	△ 57
21 株式等売却損	△ 5	△ 11	6
22 株式等償却	△ 526	△ 165	△ 361
23 その他の臨時損益	△ 50	18	△ 69
24 経常利益	589	1,271	△ 681
25 特別損益	49	32	16
26 うち償却債権取立益	14	44	△ 30
27 うち貸倒引当金戻入益	76	-	76
28 うち偶発損失引当金戻入益(与信関連)	9	5	3
29 税引前四半期純利益	639	1,303	△ 664
30 法人税、住民税及び事業税	0	△ 1	2
31 法人税等調整額	309	575	△ 266
32 四半期純利益	329	729	△ 399

(参考)

33 与信関係費用総額(△は費用)(4+12+15+27+28)	41	△ 49	90
----------------------------------	----	------	----

## 2. 金融再生法開示債権

## 【2行合算+信託勘定】

(単位:億円)

	平成20年12月末	平成20年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,727	1,177
危険債権	6,863	5,560
要管理債権	2,642	3,846
開示債権合計(A)	11,234	10,585
総与信合計(B)	956,155	919,614
開示債権比率(A)/(B)	1.17%	1.15%

## 【三菱東京UFJ銀行 単体】

(単位:億円)

	平成20年12月末	平成20年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,578	1,087
危険債権	6,498	5,103
要管理債権	2,456	3,463
開示債権合計(A)	10,533	9,654
総与信合計(B)	849,285	818,044
開示債権比率(A)/(B)	1.24%	1.18%

## 【三菱UFJ信託銀行 単体】

(単位:億円)

	平成20年12月末	平成20年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	148	88
危険債権	362	455
要管理債権	177	374
開示債権合計(A)	688	918
総与信合計(B)	105,446	100,044
開示債権比率(A)/(B)	0.65%	0.91%

## 【信託勘定】

(単位:億円)

	平成20年12月末	平成20年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1	1
危険債権	2	1
要管理債権	9	9
開示債権合計(A)	12	12
総与信合計(B)	1,423	1,525
開示債権比率(A)/(B)	0.90%	0.83%

## 3. 有価証券の評価損益

時価のある有価証券について記載しております。

## 【三菱UFJフィナンシャル・グループ 連結】

本表には「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金、「買入金銭債権」中の商品投資受益権等を含めて記載しております。「差額」及び「評価差額」は、四半期末日(期末日)の時価に基づいております。

(単位:億円)

	平成20年12月末		平成20年3月末	
	四半期連結貸借 対照表計上額	差額	連結貸借 対照表計上額	差額
満期保有目的の債券	22,729	206	29,419	202

(単位:億円)

	平成20年12月末		平成20年3月末	
	四半期連結貸借 対照表計上額	評価差額	連結貸借 対照表計上額	評価差額
その他有価証券	400,028	△ 6,821	361,621	10,048
株式	40,485	887	56,747	13,779
債券	230,231	828	170,621	△ 88
その他	129,311	△ 8,538	134,253	△ 3,642
外国株式	1,000	△ 325	1,922	951
外国債券	93,325	169	84,150	△ 208
その他	34,985	△ 8,382	48,180	△ 4,385



## 【三菱東京UFJ銀行 単体】

本表には「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金、「買入金銭債権」中の商品投資受益権等を含めて記載しております。「差額」及び「評価差額」は、四半期末日(期末日)の時価に基づいております。

(単位:億円)

	平成20年12月末		平成20年3月末	
	四半期貸借 対照表計上額	差額	貸借対照表 計上額	差額
満期保有目的の債券	6,953	34	18,884	21
子会社・関連会社株式	2,002	△ 520	5,644	2,308

(単位:億円)

	平成20年12月末		平成20年3月末	
	四半期貸借 対照表計上額	評価差額	貸借対照表 計上額	評価差額
その他有価証券	314,947	△ 6,352	283,847	5,213
株式	31,923	△ 1,324	45,213	8,134
債券	188,616	671	140,322	△ 337
その他	94,407	△ 5,700	98,310	△ 2,583
外国株式	743	△ 261	1,812	961
外国債券	65,794	457	56,500	△ 180
その他	27,869	△ 5,896	39,997	△ 3,364

## 【三菱UFJ信託銀行 単体】

本表には「有価証券」のほか、「買入金銭債権」中の商品投資受益権等を含めて記載しております。  
「差額」及び「評価差額」は、四半期末日(期末日)の時価に基づいております。

(単位:億円)

	平成20年12月末		平成20年3月末	
	四半期貸借 対照表計上額	差額	貸借対照表 計上額	差額
満期保有目的の債券	9,779	195	9,093	180
子会社・関連会社株式	64	△ 32	64	△ 17

(単位:億円)

	平成20年12月末		平成20年3月末	
	四半期貸借 対照表計上額	評価差額	貸借対照表 計上額	評価差額
その他有価証券	67,025	△ 1,538	60,123	1,943
株式	7,856	108	10,757	2,500
債券	36,206	193	25,958	238
その他	22,963	△ 1,841	23,407	△ 796
外国株式	227	△ 47	98	△ 4
外国債券	17,492	△ 270	17,980	△ 125
その他	5,243	△ 1,523	5,329	△ 666

## 4. ROE【三菱UFJフィナンシャル・グループ 連結】

(単位:%)

	平成21年3月期 第3四半期	平成20年3月期 第3四半期
当期純利益ベース(注)	△ 0.98	6.55

(注)ROEは、以下の式により算出しております。

$$\frac{(\text{四半期純利益} \times 4 \div 3) - \text{非転換型優先株式年間配当相当額}}{\frac{(\text{期首連結株主資本合計} - \text{期首発行済非転換型優先株式数} \times \text{払込金額} + \text{期首為替換算調整勘定})}{\text{期首為替換算調整勘定}} \times 100} \div 2$$

## 5. 預貸金利回【2行合算】

(国内業務部門)

(単位:%)

	平成21年3月期 第3四半期	平成20年3月期 第3四半期
貸出金利回	1.76	1.72
預金等利回	0.31	0.26
預貸金利回差	1.44	1.45

## 6. 預金・貸出金の残高【2行合算】

(単位:億円)

		平成20年12月末	平成20年3月末
預金	末残	1,112,435	1,140,810
	平残	1,100,324	1,107,304
貸出金	末残	844,413	801,766
	平残	794,578	775,480

(単位:億円)

		平成20年12月末	平成20年3月末
国内預金残高(末残)(注1)		1,026,905	1,023,170
うち個人預金(注2)		635,703	625,947

(注1)譲渡性預金及び特別国際金融取引勘定分は含んでおりません。

(注2)三菱東京UFJ銀行は、平成20年5月の新システム導入に合わせ、個人預金に関する集計方法を一部変更し、法人格の無い団体の預金を「個人預金」から除外しております。現在の集計方法での平成20年3月末における2行合算の個人預金残高は、618,362億円であります。

## 7. 信託財産残高表【三菱UFJ信託銀行 単体】

(職務分担型共同受託財産合算分)

(単位:億円)

	当第3四半期末 (平成20年12月31日)	前事業年度末 (平成20年3月31日)
資産		
貸出金	2,184	2,588
有価証券	475,948	566,538
信託受益権	302,906	293,649
受託有価証券	12,158	14,474
金銭債権	117,912	120,883
有形固定資産	91,852	90,062
無形固定資産	1,358	1,353
その他債権	13,473	25,263
コールローン	10,239	15,624
銀行勘定貸	16,425	14,626
現金預け金	21,647	24,701
資産合計	1,066,108	1,169,765
負債		
金銭信託	183,254	273,590
年金信託	113,756	131,889
財産形成給付信託	121	126
貸付信託	1,500	2,331
投資信託	283,953	272,427
金銭信託以外の金銭の信託	24,883	27,824
有価証券の信託	13,529	18,121
金銭債権の信託	124,148	126,117
動産の信託	370	395
土地及びその定着物の信託	963	1,053
包括信託	319,625	315,887
負債合計	1,066,108	1,169,765

(注) 三菱UFJ信託銀行株式会社と日本マスタートラスト信託銀行株式会社が職務分担型共同受託方式により受託している信託財産を合算しております。

(参考)

証券化商品等及び米国 GSE 等関連のエクスポージャー

## 証券化商品等のエクスポージャーについて

平成 20 年 12 月末時点における証券化商品等への投資の状況は、以下のとおりです(管理ベース、金額は億円単位の四捨五入による 10 億円刻み)。

## ◇ 残高・評価損益・実現損

- ▶ 12 月末の残高は、償還・売却に加え、為替(円高)による影響もあり、全体として 3 月末比 7,020 億円減少の 2.62 兆円となりました。
- ▶ 評価損益は△4,240 億円、評価損益率は 3 月末比△6.6 ポイントの△16.2%となりました。
- ▶ 当第 3 四半期(平成 20 年 4 月～12 月)の損益への影響額は、価格下落に伴う減損、住宅ローン証券化商品(RMBS)の売却損等により 1,790 億円の損失となりました(平成 20 年 3 月期における実現損は 1,170 億円)。

(億円)

	残高 <sup>(※1,2)</sup>		評価損益 <sup>(※2)</sup>		評価損益率	
		3月末比		3月末比		3月末比
1 住宅ローン証券化商品(RMBS)	3,600	△ 2,530	△ 850	△ 190	△23.6%	△12.8%
2 うちサブプライムRMBS	830	△ 980	△ 170	200	△20.6%	0.2%
3 商業用不動産証券化商品(CMBS)	340	△ 80	△ 20	△ 10	△4.5%	△3.4%
4 企業向けローン証券化商品(CLO)	18,010	△ 2,800	△ 2,500	△ 440	△13.9%	△4.0%
5 その他の証券化商品(カード等)	3,960	△ 1,230	△ 810	△ 430	△20.4%	△13.2%
6 債務担保証券(CDO)	260	△ 330	△ 70	0	△26.2%	△13.8%
7 うちサブプライムABS CDO	0	△ 30	0	10	0.0%	25.6%
8 SIV投資	0	△ 60	0	0	0.0%	0.0%
9 合計	26,180	△ 7,020	△ 4,240	△ 1,060	△16.2%	△6.6%

(※1) 残高は減損後、評価損控除前。

米国GSE等が組成・保証するモーゲージ債、住宅金融支援機構債等の本邦住宅ローン証券化商品、投資信託等のファンドで保有している証券化商品は含まず、以下同様。

(※2) 企業向けローン証券化商品(CLO)は、市場価格に準ずるものとして外部業者から入手する価格により評価を行っていましたが、当第3四半期決算より評価の精度を高めるため、その一部につき自社における合理的な見積りに基づく合理的に算定された価額により評価を行っております。

上記の時価算定方法の一部変更による影響額は以下の通りです。

- ・平成20年12月末残高が約440億円増加
- ・平成20年12月末評価損が約2,060億円減少

尚、当第3四半期における損益への影響額は約+440億円です。

## ◇ 格付別分布

- ▶ 証券化商品等の投資残高の 79%はトリプル A 格となっています(3 月末比ほぼ不変)。

(億円)

	AAA	AA	A	BBB	BB以下	無格付	合計
10 住宅ローン証券化商品(RMBS)	3,040	230	230	20	70	0	3,600
11 うちサブプライムRMBS	670	90	10	20	50	0	830
12 商業用不動産証券化商品(CMBS)	200	90	40	10	0	0	340
13 企業向けローン証券化商品(CLO)	15,080	950	1,690	240	40	10	18,010
14 その他の証券化商品(カード等)	2,340	320	370	890	20	20	3,960
15 債務担保証券(CDO)	120	70	0	10	70	0	260
16 うちサブプライムABS CDO	0	0	0	0	0	0	0
17 SIV投資	0	0	0	0	0	0	0
18 合計	20,790	1,660	2,330	1,170	200	30	26,180
19 比率	79%	6%	9%	4%	1%	0%	100%
20 比率(3月末)	80%	6%	8%	6%	0%	0%	100%

#### ◇ レバレッジド・ローンの状況

- ▶ レバレッジド・ローン証券化商品の組成・販売業務は行っていないため、在庫ローンは保有していません。
- ▶ 12月末時点のLBOローンの残高は、下表のとおりです。

(億円)

		米州	欧州	アジア	日本	合計	3月末比
1	LBOローン <sup>(※3)</sup> (コミットメント・ベース残高)	680	1,480	390	2,940	5,500	△ 810
2	うちブック・ベース残高	480	1,300	350	2,620	4,750	△ 670

(※3) 一部リファイナンス後の残高を含む。

#### ◇ SPE（特別目的事業体）の状況

- ▶ 顧客資産の証券化を目的としたABCPの発行に関するスポンサー業務を行っています。
- ▶ ABCPコンデュイット(ABCPを発行する特別目的会社)の12月末買取資産残高は5.00兆円(うち、海外は1.50兆円)となっています。
- ▶ 買取資産の種類は主として売掛債権であり、住宅ローン債権は含まれていません。

#### ◇ モノライン（金融保証会社）関連の状況

- ▶ モノラインとの与信及びクレジット・デリバティブ取引はございません。

### 米国 GSE 等関連のエクスポージャーについて

主に外貨 ALM 運営の一環として、米連邦抵当金庫（ファニーメイ）、米連邦住宅貸付抵当公社（フレディマック）、米政府抵当金庫（ジニーメイ）が組成・保証するモーゲージ債を保有しております。

これらのモーゲージ債の12月末保有残高は合計で26,480億円（6月末比△4,930億円）、同評価損益は△90億円（6月末比+420億円）、評価損益率△0.3%（同+1.3%）となっています。

なお、上記3機関及び米連邦住宅貸付銀行（フェデラルホームローンバンク）が自ら発行する債券（エージェンシー債）の12月末保有残高は920億円（6月末比△960億円）、同評価益は20億円です。

#### <用語の解説>

RMBS	:住宅ローンを裏付資産とする資産担保証券
CMBS	:商業用不動産担保ローンを裏付資産とする資産担保証券
CLO	:企業向けローンを裏付資産とする資産担保証券
CDO	:社債、企業向け債権、クレジット・デフォルト・スワップ等を裏付資産とする資産担保証券
ABS CDO	:RMBS等の証券化商品を裏付資産とする資産担保証券(二次証券化商品)
SIV	:劣後債や短期のCP等で投資資金を調達する一方、比較的長期の証券化商品や社債等に投資し、運用と調達の利回り差で収益を得ることを主目的とする投資会社
LBOローン	:被買取会社の資産や将来キャッシュ・フローを担保とする貸出
ABCP	:金銭債権等を担保としてSPC(特別目的会社)が発行するコマーシャル・ペーパー
GSE	:米連邦抵当金庫(ファニーメイ)等の米政府支援機関

以 上